

第7回 飯南町総合振興計画等策定委員会 議事録

開催日時・場所	日時：令和6年9月18日（水）13:30～16:00 場所：飯南町役場本庁舎 2階大会議室
議 事 次 第	1. 開 会 2. 委員長挨拶 3. 議 事 （1）人口の将来展望・総合戦略について【資料1・2】 （2）第3次計画に盛り込む施策・取り組みについて【資料3】 4. 閉 会
配 布 資 料	・議事次第 ・委員名簿 ・第6回策定委員会 議事録 ・資料1：人口ビジョン目標説明資料 ・資料2：重点プロジェクト（案） ・資料3：基本計画（案）



【出席者名簿】

番号	所属団体組織等		委員	備考
1	飯南町自治区長連絡会	会長	石橋 洋司	
2	飯南町社会福祉協議会	地域福祉課長	吾郷 由美子	
3	飯南町商工会	事務局長	加津山 幸登	
4	飯南町農業委員会	会長	今岡 和登	
5	飯南町 PTA 連合会	副会長	板垣 正行	
6	山陰合同銀行	赤名出張所所長	勝部 美穂子	
7	山陰中央新報社	編集局次長	万代 剛	
8	島根県中山間地域研究センター	主任研究員	東 良太	欠
9	島根県情報システム推進課	CIO 補佐官	林 正知	
10	住民委員		大島 孝子	
11	住民委員		影山 和典	
12	住民委員		芥川 優子	
事務局	まちづくり推進課	課 長	藤原 清伸	
		課長補佐	前川 由紀	
		主 幹	岡田 祐也	
		主 幹	森山 雄三	
	(株)コスモブレイン (業務委託業者)	代表取締役	大内 智弘	
		技術部計画課 計画第2課長	實重 彩香	
		技術部計画課 技術員	上代 美帆	
		技術部計画課 技術員	松谷 蒼馬	

【議事録】

1. 開 会

2. 委員長挨拶

石橋委員長	前は6月だったので少し間が空いている。当初の予定では8月頃までに終わる予定だったが、皆様方から熱心にご意見を頂いているということでスケジュールがずれ込んでいる。大詰めの段階であるので、ご意見を頂きたい。 昨夜は中秋の名月で私も外に出てみた。薄い雲の向こうに月が見えていた。夜中にこんなに雲が見えることを改めて実感したと同時に、我が家の前にはLED防犯灯があり、月を見るのに邪魔になると感じた。また6月頃、蛍が飛んでいるがLEDは明るすぎて見えにくいこともあったなと思いだした。明るくなるのは良いことだが、暗闇を体験することができなくなっているのが今の世の中。このようなことがトレードオフという考え方になるのかわからないが、プラスの反面、見方を変えたらマイナスにもなることもある。いろいろな事を決めていく上で大事な考え方だと思う。 総合振興計画も大詰めということで具体的な計画の説明があると思うが、具体的なところは専門の方がつくるので、我々はそれに対する意見が述べれたら良いと思う。前年に時間をかけて考えた将来像や基本理念と照らし合わせ見て頂きたい。
-------	---

3. 議 事

(1)人口の将来展望・総合戦略について

(事務局説明記録省略)	
万代委員	デジタル田園都市国家構想は岸田政権が力を入れているものであり、飯南町もそれを追隨した名称を使っているが、自民党の総裁選により政権の枠組みが変わった時に、この名称が残るかわからない。この名称をこのまま使うのか、もう少し柔軟に考えたほうが良いと思う。
事務局	指摘のと通りの懸念はある。名称については、柔軟に対応できるものを検討したいと思う。
林委員	総合戦略の社会増減数の目標で－4人から10人にするという説明であったが、本来であれば第2次総合戦略の結果の検証を行い、課題を把握したうえで、改善なり対策が必要だ、という話がないと、数字を達成するためにとりあえずこの目標にしたと感じた。 本当に2029年に10人というのが達成できる目標なのか不安に感じる。
事務局	第2次計画の人口ビジョンは目標を達成できていないが、社人研の推計が5年前のものよりも人口減少傾向が緩和していることから、一定の取組の効果は出ている。

	近年の年間 UI ターン者数は 40 人程度だが、社人研の推計はそれを織り込んだものになっている。実現不可能な目標を設定するのはいけないが、何も対策をしなかった場合は推計通りの結果となるため、さらに改善させていく必要があることから、現状より高い目標を設定している。
林委員	各課で取り組まれた計画の振り返りのときに聞いてはいたが、結果として何が課題で、どこをどう改善したらよいかというのが、わからないところがあった。課題とどのような対策が必要か整理した上で、達成できそうな数値の少し上ぐらいの目標になっていれば良いのだが。「新規創業等による雇用創出数」が現状 6 人を 20 人にするとあるが、これの根拠が何か、信頼してよいのか、と思った。 課題が見えていて、十分に達成できる目標値として設定していると捉えて良いのか。
事務局	「しごと」に関していえば、例えばテレワーク企業を誘致するという取り組みがあったが、なかなか実現できないところもある。それらを新計画では実現していき、雇用者数を増やしていくということを織り込んだうえの目標設定としている。
林委員	テレワーク企業の誘致が出来ていないことに対し、原因と課題が見えており、今後、解決できる見込みがあるという意味で捉えて良いのか。 なんで上手くいかないのかわからないが目標は高く掲げようということでは、毎回毎回、何も変わらないとなる。きちんと課題を見つけて、このように変えていく、という雰囲気が役場内にあるのなら問題はないが、どうか。
石橋委員長	第 2 期計画の振り返りをした時にいろいろと課題は出てきたが、具体的な解決策はこれから出てくるのではないかと思う。ここでは、あくまでも目標として挙げておられると思う。ただ本音としては裏付けが欲しい、というのはあると思うので、検討をお願いしたい。
事務局	全てが積み上げたものにはなっていないところもあるが、今までの計画の評価や実績に対して、どこまで頑張っていこうかという目標としている。数値をクリアすることが目標ではないし、低すぎる目標を立てても仕方がないところがあるので、頑張って目指せる可能な限りの上限ということでご理解して頂きたい。
石橋委員長	人口ビジョンについては、推計で出された減少率を緩和させるという、どちらかという消極的な目標にも見えるが、現実的にはそうなると思う。 しかし希望としては、役場内でも、この人口減少が劇的に改善するには何が起こればよいかとか、飯南地域として存続していくためには、どの程度の人口規模であれば許容できるか、どのような人口構成が必要か、という議論をしてみるもの良いと思う。そこで下げ止まりさせるという考え方も必要だと思う。 今、2,600 人という数字があるが 2,600 人で本当にやっていけるのか、各分野の専門家も含めて検討することが、どこかの段階で必要になってくると思う。

(2) 第3次計画に盛り込む施策・取り組みについて
政策分野Ⅰ. 創造力のある未来の人づくり

(事務局説明記録省略)	
大島委員	【1-1 子育てしやすい環境づくり】 出産についてはどのように考えているか。地元で出産される方や他県で出産される方もいると思うが、こちらの医療機関とうまく連携が取れているのか。 また、妊婦時代をどのように過ごされているのか。
事務局	【施策②子どもに関わる相談体制の充実】に子ども家庭センターにおいて、専門職員と子育て支援員が妊娠期から母子とその家族の子育てについて包括的に支えると記載している。詳しくは書いていないが、妊娠期から支援をしていくこととしている。
大島委員	飯南町で里帰り出産ができる、ということではないのか。他所で出産をする、ということか。
事務局	飯南町には出産できる施設がないので、基本的には町外の病院に通われるか里帰りされるか、ということになる。
影山委員	【1-4 生きがいのある生涯学習の創出】 【施策③歴史文化を感じるまちづくり】の一番下の項目は、次期計画から行う新しいことという説明があったが、例えば、新しい取組や大事なこと、目標を達成するために特に重点的にやったほうが良いことなど、特に大事な項目には、マークを付けたり強調すると、パッと見た時に目につきやすいかと思った。
事務局	参考にさせて頂く。町長の想いなどもあるし、皆さんの意見も聞きながら、押しポイントのようなものがあれば、検討したいと思う。
今岡委員	【1-2 飯南町にふさわしい教育環境づくり】 【目標 保小中高一貫教育に対する生徒の満足度】の目標値が90.5%から90%に下がっている。こういう目標を立てて良いのか。現在の数値から下がる目標はあまり良くないのではと思う。
石橋委員長	現状値と目標値だが、実際の数値だけでなく、アンケートからの満足度のような意見を集約した合計が目標になっているものもある。正しく反映されるのか心配もある。 この計画策定でアンケートをしたとき回収率は50%くらいだったと思う。回答されなかった人は何を考えているのか不安に思うところで、それをどのように扱うか、ということもある。満足度などを目標とすると、数字がつくってしまうのではないか。 先ほどの今岡委員の言うとおりの、目標は現状より高くしたほうが良いし、正しく反映できる数字になっているのかも検討してもらおうと良い。
加津山委員	【1-2 飯南町にふさわしい教育環境づくり】 【施策③多様な教育ニーズへの対応】をしっかりと入れて頂いた。ぜひ推進していきたい。 満足度の話があったが、雲南市ではKPIを把握するために毎年無作為抽出で

	アンケート調査をやっている。無作為抽出であっても毎年やると傾向が出てくると思う。
今岡委員	この計画策定のためのアンケートは全戸対象だったか。
事務局	2,000 名が対象だった。
今岡委員	その半分の 1,000 名の意見が計画の目標になっているのか。情報収集としてアンケートは必要だと思うが、各戸を回って調査ができると一番良いのだが。
勝部委員	【1-4 生きがいのある生涯学習の創出】 【目標 ソフトボール第 1 種公認審判員（記録員）の育成数】とあるが、初めて計画書を見る人はなぜソフトボールなのか、と思うのではないか。飯南町と言えばソフトボール、と結びつくようなものなのか私にはわからなのだが、唐突に出てくる感じがする。先ほど施策の中でもイチオシを示すという意見があったが、そういう意味で、なぜソフトボールなのか、ちょっとした説明があると初めて見る人にはわかりやすいかと思った。 【1-5 平等に暮らせる社会づくり】 【目標 人権研修会の参加者数】で現状 126 人、目標 200 人とあるが、今後、学校教育でも ICT などを目指す中で、Web で参加される人もおられる。200 人という数字だけでなく、web でも参加できるなど、色々な施策が結びついた目標だと良いと思った。
事務局	飯南町は国民スポーツ大会のソフトボールの会場となるため、審判員の育成が必要となる。【施策④スポーツの普及と住民参加の機運醸成】に国民スポーツ大会のことに触れてはいるが、ソフトボールの会場になる等までは記載してなくわかりにくい部分があるかと思う。記載について検討をする。
影山委員	国民スポーツ大会は 2030 年。総合振興計画は 10 年間なので国民スポーツ大会が終わっても計画は続く。今の目標は国民スポーツ大会に向けて設定されている感じがあるので、例えば飯南町ではソフトボールを通じて健康づくりをする等、10 年間を通した目標になっていれば良いと思った。
今岡委員	飯南町がソフトボールの会場になり審判員を育成しなければ出来ない、ということで計画に挙げられたと思う。2030 年のあとも計画は続くと言われるが、国民スポーツ大会には審判員が必要であるし、その先も飯南町でソフトボールの大会が開かれる可能性はあり、その時に地元の審判員がいないと駄目なんじゃないかと思いながら聞いていた。
石橋委員長	国民スポーツ大会を機にソフトボールを生涯スポーツに位置付ければ計画がもっと良くなるし、その手法の一つとして審判員や記録員の養成が必要だという意見かと思う。これだけを見るとソフトボールの審判員というものが唐突に感じるので説明が必要かもしれない。
事務局	人権研修会の参加者数の目標だが、研修の手法について盛り込めるか検討していきたい。
板垣委員	よくまとめられたと思い感心して見させていただいた。「役場が取り組む」「私たちができる」の項目はすごく良いと思ったが、「私たちができる」は具体的に

	書いてあるところと、ぼかして書いてあるところがある。例えば「ファミリーサポートセンターへの会員登録」などはわかりやすいが「ふるさと飯南町をフィールドとした学習に協力します」というのはボヤっとしている。町民にお願いしたいことが具体的に書いてある方がわかりやすい。文章じゃなく項目書きでも良いので、町民ができることがはっきり書いてあれば、町民もこれをやればよいのか、という思いになる。 【1-5 平等に暮らせる社会づくり】の「私たちができる」には、人権や多様性に配慮した地域活動を進めます、となっているが、これは本当に町民がやることなのかと疑問に思った。むしろ心の問題であり、人権や多様性に配慮することやそれを認めた暮らしをすることが大切だと思う。
林委員	第 2 期計画の施策をそのままスライドして継続するものがたくさんあり、それが入り混じっていて、第 2 期計画と何が違うんだ、と思った。 10 年後はこうなりたい。そのためにはこういうところに力を入れていく、という目玉のようなところをピックアップしていきなり、新しい取組があればそこに New と記載するなど、これから力を入れていくところを書いた方が良い。 10 年後を目指して今までの施策プラスアルファもあるのだろうが、それが抑揚なく書いてある。これからの 10 年で何が目玉で、何が新しく、楽しいこと、ワクワクすること、などが読み取りづらい。計画を読んだ人に、興味を持ってもらう、参加をしてもらう、前向きにとらえてもらえるような工夫をしてほしい。
事務局	見せ方については、どこまでできるかわからないが、メリハリや新しいことが分かるようにできないか検討してみたい。
林委員	「主な取組み」がたくさん書いてあるが、政策分野の表紙ページの「これまでの取組み」と重複するのか。
事務局	今までやってきたこともあるし、新しいものもあるので、混在している。
林委員	施策ページの「主な取組み」の中から、これまでの取組みは全て政策分野の表示ページに挙げて、新しいものだけ施策ページに掲載し目立たせたほうが良いのではないか。 計画書を読んでいて、そのようなことが必要なのではないかと思った。
板垣委員	各施策について役場がこれだけの取組みをしていくということで「主な取組み」が書いてあるので、きちっと書いてある方が良いと思う。新しいことを際立たせるのなら、新しい取組は色を変えたり New と書いたりしたほうが良いと思う。

政策分野Ⅱ．誇れる産業と仕事づくり

(事務局説明記録省略)	
吾郷副委員長	全体的に余白が活かされており見やすくなった。「役場が取り組む」と「私たちができる」に分けたのも良いと思う。 【2-4 観光の振興】【2-5 飯南ブランドの構築】の「私たちができる」では誰もがすることになっているが【2-2 林業の振興】では「所有する山林の適正な保全に取り組めます。」と、山林を保有している人しか取り組めない内容になっているので、誰もが取り組めるものにして頂きたい。 基本施策に関連する SDG s のアイコンが掲載してあるのはとても良いと思うが、文字が読めないのでもう少し大きくできないか。
事務局	表示の仕方と内容について検討したい。
今岡委員	【2-3 商工業等の振興】 【施策①経営基盤の強化】の取り組みにイーにゃん PAY の定着支援とあるが、イーにゃん PAY を利用している人はそんなにいないのではないだろうか。PAY を使って買い物ができる場所が少ない。また町外では使えない。もう少し便利に使えるものに変えてほしいと思う。
加津山委員	キャッシュレス社会が来る、ということでイーにゃん PAY を普及しようと商工会で事業を進めていきたいと思っている。 昨年の 12 月にスタートしたばかりでまだ 1 年も経過しておらず、現状としては利用できる店が少ないということはあると思う。 運営委員会をつくっており、その中でもそういう意見を頂いているので、飯南町と商工会がタイアップしてエコープやジュンテンドーなど日用品を扱う大きな店にお願いしに行こうと、昨日町長に要望をしたということもある。 利用率というと、町民 4,500 人のうち、カードは 9 割が所有している。10,000 円で 12,000 円分が使える所謂プレミアム分は、約 1,000 人の人が購入をした。 これから使える店を多くしたり、利便性を高くすることによって定着させ、地域内の消費を喚起し、地域循環の相乗効果を上げていきたい。地域の事業者は生活インフラでもあるので、事業者が残らないと生活ができなくなっていく。せっかく事業費を使って進めてきた事業なので、この計画の中で実績に結び付けていきたい。
板垣委員	この政策分野で新しく盛り込んだ施策はどれか。
事務局	【2-1 農業の振興】の【施策⑥生産基盤の整備】の下 3 項目。 【2-2 林業の振興】の【施策①町産材を活用した産業の創出】に若干手を加えている。【施策③生産基盤の確保】の 2 つ目。【施策④林地の保全】の 2 つ目、3 つ目。 【2-4 観光の振興】の【施策②滞在型・体験交流事業の展開】の 2 つ目を新たに追加している。
今岡委員	【2-1 農業の振興】の【目標 農業法人数】を 30 から 33 にするとあるが、法人数は減っていくのではないかと考えている。

	今、農業委員会と役場で地域計画をつくっており、10 年後には、田んぼを誰がつくっているか、ということを検討している。名前が入らない田んぼが結構ある状態。このような状態でこのような目標が出されても難しいと思う。 また、【2-5 飯南ブランドの構築】の【目標 エコロジー米取組面積】も倍になっているが、現実的には難しい。
石橋委員長	私から見てもかなり厳しい目標だと感じる。 今は集落営農型の法人が主体なわけだが、もっと違う形の法人、例えば個人の認定農業者の方が法人化するパターンもありだと思う。どのような方向に誘導していくのか検討をし、それを踏まえた目標設定が良いと思う。 エコロジー米は、確かに厳しい話だと思う。エコロジー米の捉え方という別の問題があると思うので、担当課で検討して頂いたほうが良い。
林委員	人口ビジョンで 2040 年に 3,400 人を目指すとしている。この 3,400 人の中で実際に働ける人口の割合がわからないことを前提での意見だが、人口がどんどん減っている中で、農業法人数や事業承継企業数を増やすという目標になっている。働き手が減っていく傾向なのに、目標とリンクが取れているのか。
事務局	各課から目標を出しているのだが、これを出した時点では人口ビジョンの目標が確定していなかったもので、完全にリンクしていないところはある。それらを考慮して、数値の見直し等をかけていければと思う。
加津山委員	事業承継の目標は年間 3 件となっている。3 つくらいの事業所の事業を継続していこう、という目標なので人口とはリンクしてこない。
林委員	大人になったら飯南町外へ出たいという子ども達が 8 割くらいだったと思う。20 代だけではなく、40 代、50 代の人継承することもあるので、リンクしないことはあると思うが、やはり働き手が減っているのに、働く場所を守っていくということが繋がらないと思う。要は 40 代・50 代の人事業承継をしても、その下で働く若い人たちがいなくなったら会社として成り立たないと思う。そのようなことを考えると、人が減っているのに事業が続くということが、自分の中で整理が出来ない。
加津山委員	基本的にそういった事業者をきちんと残していかないと飯南町自体が続いていかない。1 年間に 3 社くらいは事業承継をして次世代に繋いでいくことをやっていく、という目標と理解をしたい。 事業承継がなくなればどんどん事業者数が減って、もっと尻すぼみになる。
林委員	将来 3,400 人になったときの働ける世代がどれだけいるかが、わからなくて、おそらくアンケートによると、その中には若い世代がほぼいないということが前提にある。やはり目標とのリンクが気になって話をした。
加津山委員	5 人も 6 人も雇用している企業もあるが、例えば理容店などの個人経営でも事業承継は事業承継としてカウントしてもらうよう産業課と話をした。
石橋委員長	人口が減少していくというシミュレーションの中で、職場をどのように確保していくかは非常に大きな問題だと思う。矛盾しているところを議論しなくてはいけない。

	例えば、農業で言えばどうやって少ない人数で耕作をしていくか、技術的な問題もあるし、手法の問題もあると思う。法人も作業と経営を分離させるなど、色々なやり方はあると思う。 林業で言えば、今はチェーンソーで木を切って川に流すことはほぼなくなり、道路を付けて機械を使いそのまま積み出している。 農林業や建設業では少ない人数でやれるやり方を模索していると思うが、役場も含めて検討をしていく必要があると思う。
--	---

政策分野Ⅲ. 誰もが健やかな暮らしづくり

(事務局説明記録省略)

今岡委員	【3-2 地域医療の維持・充実】 【目標 一人当たりの医療費】の根拠を教えてください。
事務局	細かいところまで把握はしていないので、担当課に確認をする。
勝部委員	【3-2 地域医療の維持・充実】 「私たちができる」で飯南病院を利用するとあるが、飯南町には内科中心にはなるが先生が常駐している来島診療所もある。飯南病院だけを利用すると記載するのはどうかと思った。
板垣委員	【3-2 地域医療の維持・充実】 【施策①医療従事者の確保】の主な取組に「本町で働きたいと思える地域包括ケアの推進」とはどういう意味か。
事務局	わかりやすい表現に直したい。
石橋委員長	おそらく、地域全体で住民をケアしていくシステムが出来上がっている地域で働きたい人、という意味ではないのか。
板垣委員	地域包括ケアの精神だと、どちらかというと利用者の方だと思う。
吾郷副委員長	Topics に地域包括ケアのことが記載されているが、高齢者が在宅で介護が必要になったら介護が受けられる、医療が必要になったら医療が受けられる、相談したいことがあったら、そこで相談ができるなど、全てが一体となって高齢者を支えていく地域だからこそ、ここで働きたい、という意味だと思った。
石橋委員長	いずれにしても記載するのならわかりやすい書き方にした方が良い。
今岡委員	医療関係は専門用語が多くて理解しにくい部分はあると思う。
石橋委員長	政策分野3は主な取組が盛りだくさんなので、もう少しまとめても良いと思う。
林委員	【3-2 地域医療の維持・充実】 【施策②地域のニーズに合わせた診療機能の充実】の主な取組に「本町にふさわしいデジタル化の検討」とあるが、ここに記載するならもう少し具体的に書いてほしい。
事務局	担当課に確認をして、具体的にやることが決まっているのならそれを記載するようにしたい。

政策分野Ⅳ. 安心して暮らせる環境づくり

(事務局説明記録省略)	
芥川委員	【4-2 生活基盤の整備】 【目標 公共交通利用者数】で目標の利用者数が減っているのはなぜか。 【4-3 消防・防災対策の充実】 【目標 消防団員数】とあるが、消防団員は増えるのか。現在、分団も統合されたり、なかなか苦慮されていると聞いている。
事務局	公共交通利用者数についてだが、担当課によると人口減少を加味してこの目標にしているということだった。 消防団員数についてだが、私も消防団員だが、うちの地区も消防団に入らない若い人が結構いるので、そのような方に協力してもらう必要があると思っている。
芥川委員	災害も増えてきているので消防団員数の確保は重要だと思うが、少し目標が高いかと思った。
事務局	最近では機能別消防団員というのも増えてきているので、それも加味している。
石橋委員長	正式な消防団員ではないが、OB で協力団員的な人もうちの集落にいますが、それも数に入っているのか。
事務局	担当課に確認する。
加津山委員	【4-1 定住促進と関係人口の拡大】 【目標 U ターンの移住者数 I ターンの移住者数】は将来展望案を加味した数値か。また、目標値はだんだんとこの数値に近づけていくのではなく、単年度の目標か。もしそうなら、第 2 期計画の書き方に合わせて 5 年平均で記載したほうが良いとおもう。
石橋委員長	【4-2 生活基盤の整備】 【目標 上水道接続率 下水道接続率】は供用されている区域内の接続率か。下水道には農業集落排水や合併浄化槽が含まれているのか。
事務局	農業集落排水と合併浄化槽を全て含んだ数値となっている。供用されている地域の数値かどうかは正確には担当課に確認が必要だが、全体の数値だったかと思う。
石橋委員長	数値が変わってくると思うので抑えておいた方が良いと思う。

政策分野Ⅴ．協働で進めるまちづくり

(事務局説明記録省略)	
影山委員	飯南町が合併した時に、赤名は行政の拠点、来島は教育の拠点、頓原は医療の拠点とするという話を聞いたことがある。この方針はまだ生きているのか。 まだあるのであれば、これも含めて考えないといけないし、検討中の教育基本計画と統一感を出していかないといけないと思う。

事務局	合併時の新町建設計画に拠点の記載があったと思う。 新町建設計画を新しい総合振興計画に盛り込む考えはない。そもそも新町建設計画は合併時の計画であって、合併特例債を使うためにビジョン等を定めたもので、合併特例債は今年が最終年度になっている。来年度以降、この計画がどのような扱いになるかは確認をしないとわからないところがある。また合併から 20 年経っているので考え方も見直す時期になっていると思う。
加津山委員	【5-2 協働のまちづくりの推進 5-3 健全で効率的な行政運営の推進 5-4 広報・広聴の充実】 目標値が記載されていないが、今から検討をするのか。それとも目標は設定しないのか。
事務局	現時点では目標を設定しないこととしている。全てに目標があるのが一番良いのだが、なかなか数値として設定が出来ていない。
加津山委員	【5-1 住民主体のまちづくりの推進】 【目標 地域づくり講演会、人材育成講座参加者数】となっているが、捉え方を変えて、例えば地域づくりに参加している人の割合などにしてはどうか。参加者だけではなく、大きい範囲で目標を考えると良いと思う。
事務局	この分野の目標については、もう少し検討をし、良いものがあればそれを使っていきたい。
石橋委員長	この総合振興計画の中ではエリア分けなどは出てこないのか。
事務局	今のところは考えていない。
板垣委員	【5-3 健全で効率的な行政運営の推進】 「私たちができる」で行政施策の外部評価に協力しますとあるが、これだけではもったいないと思う。せっかく町報などで詳細を周知しているので、町報を熟読するとか理解に努めますなど、もっとアピールすると良いと思う。
事務局	もう少し記載内容を検討しようと思う。
石橋委員長	情報を自分から取りに行くのはなかなか大変だと思う。何かの会のときに、自治会で役場の情報を回覧や戸別配布で周知しているが、きちんと伝わっていると思うかと聞かれたことがあるが、伝わってないと思うと答えた。 必要とする情報が人によって違うと思う。自分もそうだが、全ての情報を把握しているわけではなく、必要と思う情報を得ている。毎月いろいろな配布物があり、できれば皆さんに目を通してもらいたい、頭に残るのはそんなになので、どのような情報の出し方をするのかは考えていかないといけないと思っている。

全体について

(事務局説明記録省略)	
林委員	5つの政策分野があるが、これがどうして出てきたのかわからない。6つが5つに集約された繋がりがわからない。また総合戦略では 4 つの目標となっている。6つが5つに、5つが4つに、となっているのがよくわからない。

事務局	最初の6つというのは将来像を実現するための大切な考え方のことだと思う。また将来像を実現するために具体的にやっていくことが5つの政策分野となる。
林委員	第4回策定委員会で勝部委員が、政策分野にわけているが色々な施策がいろいろな分野に関連してくるので円を書いて表現したらどうかという意見を言われたと思う。子ども達を読んでも、ずっと理解できる構成になると良いと思う。
事務局	確かにそのような意見があった。今回の資料にはないが、計画書ではわかりやすい表現でつくりたいと思う。 さきほどの5つが4つに、という話だが、今回の計画が総合振興計画と総合戦略を兼ねているものなので分かりにくくなっていて申し訳ない。総合振興計画としては5つの政策分野を設定している。それに加えて総合戦略では国が示している4つの柱があるので、それにあわせて飯南町の施策を4つに組み替えたというイメージになる。
林委員	最終的に冊子になったときに、流れがわかるようになるのか。
事務局	考慮して作りこもうと思っている。
今岡委員	【2-4 観光の振興】 【施策②滞在型・体験型交流事業の展開】の主な取組で上下流交流の実施とあるが、上下流とはなにか。
事務局	説明不足になっているが、これは現在、志津見ダムの上流と下流で交流をしているので、その取り組みを掲載している。
万代委員	基本的に政策分野はこれで良いと思うが、人口を分析していくにおいて、やはり働き手や担い手は誰か、ということが明確になっていないと思う。目標に対して町民がどのように動いていこうか、行動に繋がらない記述になっているのは、そこらへんが原因かと思う。 また、デジタルの記述が弱いと思った。総合戦略の位置付けでデジタルと記載している割には計画の中でデジタルのことが分散している。デジタルで1項目をつくる必要はないが、先ほどの意見にあったNewのマークみたいにデジタルも強調すると良いと思う。人口が増えないなかで効率化等をデジタルで補っていくということを「デジタルポイント」みたいな形で示すと良いと思う。 施策は子どものことに結構振ってあり、それはそれで良いのだが、現役世代が安心して暮らせる、仕事がある、稼げるなど、現役世代が頑張ろうと思える目標が少ない印象がある。 基本計画では、町民の行動につながらない、各課の皆さんが知って入ればよい、仕事をきちんとしますというようなものは全て省き、絞り込んだほうが良いと思う。 そうすると総合戦略（資料2）の書き方が重要になると思う。個人的には合計特殊出生率を町レベルで気にする必要があるのかと思う。50代以上の人がどう頑張っても出生率には関係してこない。若い人を対象とした出生数と同時に現役世代の皆さんが長寿になることや仕事をしている人の割合など、飯南町らしい目標があっても良いと思う。総合戦略（資料2）の枠組みはこれで良いと思うが、

	各課で意見をすり合わせて将来像のようなものを話し合ってもらいたいと思った。
事務局	デジタルの項目は中身に溶け込んでわかりにくくなっているので強調するなど工夫が必要かと思った。また、総合戦略（資料２）の内容も考えていきたい。
加津山委員	合計特殊出生率は子どもの出生数によって大きく変動すると思うのであまり気にしなくても良いと思う。
石橋委員長	総合戦略（資料２）の計画の中での位置付けは分かりやすくして頂きたい。

４．閉 会

事務局	本日頂いた意見を踏まえて資料を修正していく。その後、10 月に議会で中間報告をする予定である。それと同時にパブリックコメントで町民の意見を聞いて、それらを踏まえて修正した最終案が出来た後に策定委員会を開催したい。 議会報告をする前に、今回の修正や基本構想も含めた全体の計画を見て頂く必要があるので、委員の皆様へ送付して確認して頂くことになると思う。
-----	--